

図書館だより 4月

今宮高校図書館

2011. 4. 28発行

新しい学年がスタートし、1ヶ月が過ぎました。

明日からゴールデンウィーク。さわやかな若葉の季節です。

3年生は部活から本格的な学習生活へ、2年生は部活と学習の両立へ、

1年生は本格的な高校生活、スタートですね。

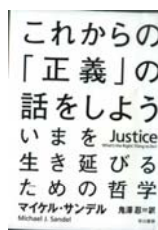


昨年 話題になった本

昨年話題になったのは長いタイトル、かわいいアニメ風の装丁の「もし高校野球の女子マネージャーがドラッガーの『マネジメント』を読んだら」(岩崎夏海著)でしょう。甲子園を目指す高校野球部の女子マネージャーみなみが経営学者PFドラッガーの『マネジメント』を読み、企業経営や組織論を部活経営にいかしてゆくという話でビジネス書としても反響を呼びました。マネジメントの考え方が色んなことに応用でき、大きな力になることを伝えてくれます。現在NHKでアニメ放送もされています。NHKといえばサンデル教授の『ハーバード白熱教室』も人気がありました。『ゲゲゲの女房』もNHKの朝ドラで大ヒット。

また「いい質問ですね」の池上彰も大ブレイク。テレビでのわかりやすい解説が大人気でした。彼は昔「週間こどもニュース」(NHK)のお父さんでしたよね。

小説では、前年度に続き村上春樹の『1Q84』BOOK3。本屋大賞受賞作『天地明察』(沖方 丁著)は映画化されそうです。映画化といえば大阪を舞台にした『プリンセスヨトミ』(万城目学著)がGWに上映。大阪府庁や道頓堀など身近なところでのロケだそうです、楽しみです。



貸出ベスト10



第1位

「もし高校野球の女子マネージャーがドラッガーの『マネジメント』を読んだら」

岩崎夏海 ダイヤモンド社

野球部のマネージャーのみなみは、偶然ドラッカーの経営書「マネジメント」に出会う。はじめは難しさとまどろが、野球部を強くするのにドラッカーが役立つことに気づき…。ドラッカーの教えをもとに甲子園を目指す青春物語。

第2位

「1 Q 8 4」BOOK3

村上春樹 新潮社

そこは、世界にただひとつの完結した場所だった。どこまでも孤立しながら、孤独に染まることのない場所だった。待望の書き下ろし長編小説、第3弾。

第3位「夜行観覧車」

湊かなえ 双葉社

父親が被害者で、母親が加害者。高級住宅地に住むエリート一家で起きたセンセーショナルな事件。遺された子どもたちは、どのように生きていくのか。「告白」の著者が描く家族小説。

「嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん」

「神様のメモ帳」

「日本人の知らない日本語」

「天地明察」

「これからの正義の話をしよう」

「武士道エイティーン」

「KAGEROU」

入間 人間著

杉井 光著

蛇 蔵著

冲方 丁著

マイケル サンデル著

誉田 哲也著

齊藤 智裕著

メディアワークス

メディアワークス

メディアファクトリー

角川書店

早川書房

文藝春秋

ポプラ社